

地域活動報告



横浜

旭区こども写生大会

横浜市旭区青少年指導員連絡協議会 会長 湯田 達彦

6月21日(土)、晴天に恵まれたよこはま動物園ズーラシアで、毎年恒例の「旭区こども写生大会」を開催しました。

当日は、園内での呼びかけも行い、277人の方にご参加いただきました。画材を受け取った子どもたちは、園内の動物たちを題材に思い思いの場所で写生を楽しみ、最後に完成した作品と一緒に記念撮影を行いました。

日差しも強く、暑さの厳しい中でも子どもたちの集中力が光る、笑顔あふれる一日となりました。動物たちとのふれあいを通じて、自然への関心も深まるひとときとなりました。



川崎

第40回あさおわくわくウォーク

川崎市麻生区青少年指導員連絡協議会 会長 佐藤 昇平

川崎市麻生区青少年指導員連絡協議会では、青少年の育成活動を推進するイベントとして「あさおわくわくウォーク」を開催しています。

「わくわくウォーク」とは、地形の特徴だけが記載されている『コマ図』を頼りに、チーム一丸となってゴールを目指すウォークラリーです。ゴールまでの時間とコース途中のゲームポイントやサーチポイントで獲得する得点で順位が決まります。

第40回の節目となった昨年は、11月24日(日)に開催され、14チーム・61名が参加しました。各チーム、コマ

図を片手に話し合いながらチーム一丸となって無事ゴールすることができました。参加した子どもたちからは「ネイチャーゲーム(公園での探し物)は、なかなか見つからなかったけど楽しかった!」や「道に迷ったけどチーム全員で頑張ったよ!」等の声があり、指導員にとっても楽しい一日となりました。





こどもたちの笑顔に癒されました

厚木市青少年指導員連絡協議会 広報部会長 久保 勝寿



厚木市青少年指導員連絡協議会では例年5月に「少年少女フェスティバル」を行い、こどもたちにももの作りの楽しさを体験してもらっています。今年は厚木市が市制70周年を迎え、当協議会を含む5つの青少年関係団体で組織する実行委員会を主管として、7月6日(日)に荻野運動公園で市制70周年記念事業『こどもフェスタ2025』を開催しました。

当日は青少年指導員を中心とした市内15地区の青少年関係団体の方々が、それぞれブースを設けてこどもたちを迎えました。紙ブーメランや竹とんぼなどの飛ばして遊ぶもの、造形を楽しむバルーンアート、かざぐるま・やじろべえ・万華

鏡などの昔懐かしいものなど、様々なおもちゃ作りをこどもたちに楽しんでもらいました。

当日の参加者数は約3,500人、それぞれのブースでは200人分の材料を準備していたのですが、午前中で材料が無くなってしまったブースも多く、午後の分の材料確保にも追われていました。大盛況でとても忙しかったのですが、こどもたちの笑顔に癒された一日でした。

地域少年リーダー養成講座「きらめきロビンフッド」 ～テーマは「防災」～



小田原市青少年育成推進員協議会 副会長 永森 俊行

小田原市青少年育成推進員協議会では、小学校5・6年生を対象に地域青少年リーダー育成を目的とした研修を行っています。

令和6年度のテーマは「防災」で3回の研修を行いました。

能登半島地震や南海トラフ地震の危険性を話題にしながら、未来の地域リーダーに必要な自主性や協調性を身につけることを目指し実施しました。

研修は3つのステップに分かれており、ステップ1では防災クロスロードゲームや防災ボトル作り。

ステップ2では、1泊2日で野外炊飯、救急法を学び、ダンボールでベッドやトイレ、パーテーションを作る体験、災害時の配給体験を行いました。

ステップ3では災害時に協力する運動会形式のアクティビティが行われました。

参加者はこれらの活動を通じて防災知識を学び、協力し合うことの大切さを実感しました。今回参加したことで、かけがえのない仲間に出会い、防災に対して多くの学びがあったと思います。

